

平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高生 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

※ [8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

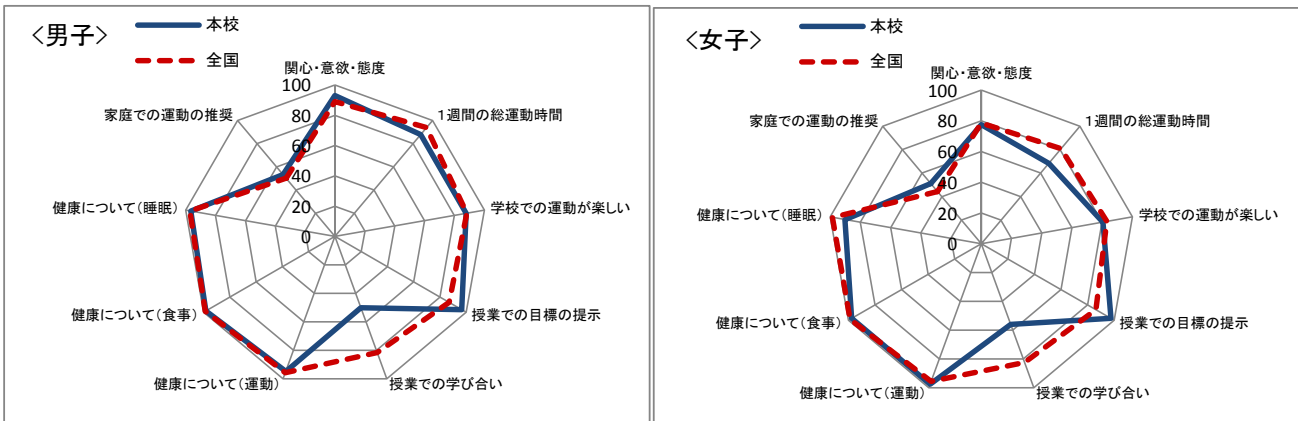
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
本市	30.03	28.52	45.87	52.20	385.94	86.32	7.88	200.58	21.32	44.57
全国平均以上の種目	○		○	○			○			○

＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97
本市	24.42	24.60	49.11	46.77	289.36	58.86	8.76	174.36	12.78	51.77
全国平均以上の種目	○		○			○				

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女共に授業での学び合いの時間について意識が低いことがうかがえる。体育の授業での学び合いの場面設定などを工夫し、共に学び合える環境づくりを実践していく必要がある。家庭での運動の推奨は全国に比べ高く、理解を得られているが、1週間当たりの総運動時間が少ないことから、部活動だけではなく、昼休み等の時間を有効活用した運動の場の提供を推進していく。今後も体育の授業のさらなる改善と工夫等を継続して行い、子どもたちの運動やスポーツに対して興味・関心を高め、生涯スポーツにつながるような取組を実践していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

毎時間の授業での補強運動として、筋力トレーニングや単元に合わせた補強運動を行い、体力の向上を目指している。本校は、全校的な全身持久力の課題があるので、今年度、補強運動に加え全身持久力のトレーニングを体育の授業で毎回取り入れ、総合的な体力の向上を図っていききたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

運動習慣を改善するために、昼休みのグラウンドでのボール貸出しを行い、体育委員会を中心に継続的に実施している。より多くの生徒が楽しめるよう、今年度はボール以外の運動器具を準備し、体育の授業以外での運動をより積極的に取り組めるようにしていきたい。